



乳歯の役割

NO.33

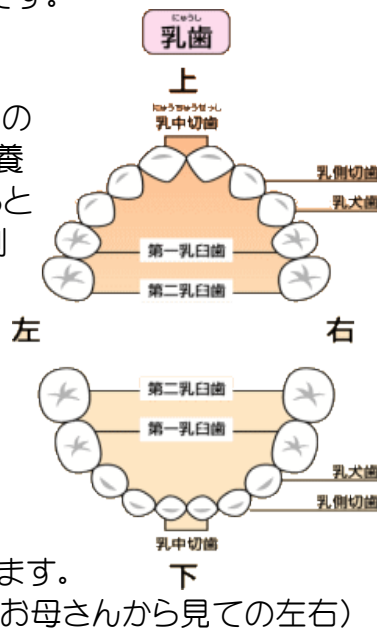
乳歯はなぜ必要？

初めて生えた乳歯は成長の証としてうれしいものですね。乳歯は生後6か月頃から生え始め、3歳くらいまでに上下あわせて20本生えそろいます。

乳歯を使う期間は短いのですが、その間に乳歯が果たす役割は重要です。

①ものを噛む

よく噛むことは子供の成長・発達に必要な栄養が効率よく吸収されるといっても大切な役割を持っています。



②発音

たくさんの言葉を覚えていく幼児期は歯が健康であることで正しくキレイな発音が身に付くようになります。

③永久歯が正しく生えるための案内役

乳歯から永久歯に生えかわる時期に、乳歯の根っこは吸収されて次に生えてくる永久歯を誘導します。むし歯などで乳歯を失うと、後から生えてくる永久歯にも問題が出てくる可能性があります。

「生えかわるから」と粗末にしていると

- * 噛む効率が悪くなる → 偏食の原因に
 - * 発音の問題 → うまく話せない
 - * あごの成長の問題 → 顔の形の不調和
 - * 噛み合わせが悪い → 歯並びが悪くなる
- などの症状を引き起こします。

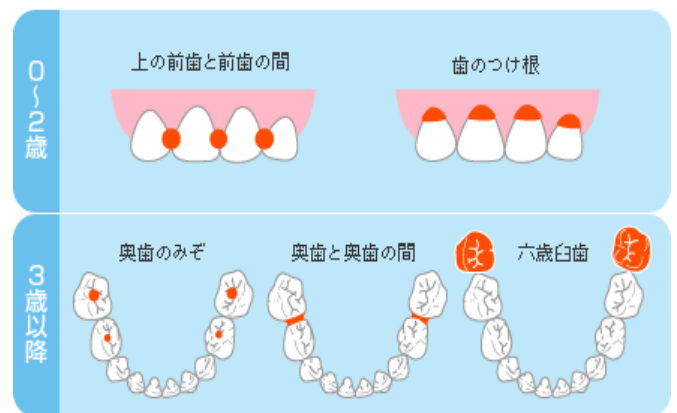
乳歯のトラブル

①むし歯

3歳までの間にむし歯になりやすいのは、上の前歯の歯と歯の間と、上の前歯の根本です。

3歳以降は奥歯のみぞや奥歯の間がむし歯になりやすくなります。歯が生えそろってきたら、丁寧なケアが必要です。

乳歯のむし歯になりやすいところ



②癒合歯

下の写真のように2本の歯がくっついて1本になっている歯。特に処置は必要ありませんが、境目がはっきりしている場合にはむし歯になりやすいので、予防を心がけましょう。



乳歯だからと軽視せず、この頃からのしっかりとした予防(ブラッシング・フッ素など)や処置がとても大切です。かかりつけの歯科医院を作りましょう！



社団法人

柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

